

2019年度 研究所事業報告書

研究所名	白川静記念東洋文字文化研究所
------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5ヵ年)および2019年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2019年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式Bに記述のうえ提出してください。

1) 学術研究事業（各運営委員や研究員による個別の研究のほか、研究所として以下の活動を行った。）

- ①第13回白川記念東洋文字文化賞の表彰式が2019年6月22日、衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルームにて開催された。優秀賞に京都大学人文科学研究所所長の岡村秀典氏、奨励賞に台湾の仏光大学中国文学・応用系助教授の黄庭頌氏が選ばれ、仲谷善雄総長以下、多数の参会者の祝福を受けた。
- ②第七回世界漢字学会が2019年9月27日、28日に衣笠キャンパスにて開催された。2019年度は立命館が幹事校となり、学会当日は世界各地から八十余名の発表者が集い、漢字に関する最先端の研究成果が発表された。28日の午後には立命館土曜講座が開催され、世界漢字学会の発表者の中から各国を代表する五名の研究者と大形副所長が「世界の漢字研究」という統一テーマのもと、一般市民向けに講演を行った。
- ③第六回東亜漢籍交流国際学術会議が高麗大学校で開催された。これは南京大学域外漢籍研究所および韓国の高麗大学校漢字漢文研究所との学術交流協定に基づく催しである。当研究からは富嘉吟、靳春雨、田中京が研究発表を行い、芳村副所長（当時）は漢字漢文研究所の沈慶昊所長の発表においてコメンテーターを務めた。
- ④2020年2月25日、26日に当研究所の研究成果報告会を開催し、研究所重点研究プログラム（第1～第3）による成果の報告を行った。併せて、芳村副所長（当時）が蒐集された長恩書屋蔵本の展示・解説が行われた。
- ⑤月1回開催している漢字学研究会は、2019年度は計10回開催され、延べ130名以上が参加した。
- ⑥高島敏夫客員研究員による連続公開講座が、「西周前期の雄篇《大盂鼎》の銘文を読む」と題して、11月23日、1月18日、2月1日と3回にわたって開催された。
- ⑦昨年度に引き続き、白川博士の「文字講話」（DVD）の上映会を毎月開催し、9月で全24話の上映を終了した。また『立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所紀要13号』（2020年3月）、『漢字学研究第七号』（2019年9月）を刊行した。

2) 文化事業

- ①体験型漢字講座「漢字探検隊」を全国7府県で10回開催し、延べ約1100名の参加者があった。「漢字学探検隊」は2007年度から全国各地で開催しており、2019年度で通算実施回数は200回を超えた。
- ②漢字教育士資格認定事業について、漢字教育士認定者数は2020年3月末で累計725名となり、その活動拠点は全国そして海外に広がっている。
- ③産経新聞社との共催による「第10回創作漢字コンテスト」は、全国から2万以上の応募があった。例年にも増して小中高生から多数の応募があり、第10回を記念して設けた長寿者部門では70歳以上の方からの応募も見られた。
- ④6月は公益財団法人中部日本書道会の書道展において、本研究所の協力のもと、特別展示「どうして漢字はその形？白川静 文字研究の姿」が開催された。また、12月には、東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2019」において、2018年度に（株）シャチハタ社と協力・開発したオリジナル古代文字「鯨旗+R甲骨体」を使った展示を行った。
- ⑤立命館学園附属校では、各附属校教員による「白川式漢字学習法ワーキング」の活動が行われ、編集を続けてきた『成り立ちで学ぶ漢字ワークシート35』の第3集が2020年4月に刊行予定である。また、白川文字学に基づいた漢字学習の取り組みを多数実施し、児童・生徒たちの漢字に対する興味・関心を引き出した。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2020年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	杉橋 隆夫	衣笠総合研究機構	客員教授	
運営委員	上野 隆三	文学部	教授	
	大形 徹	衣笠総合研究機構	客員教授	
	芳村 弘道	文学部	教授	
	松本 保宣	文学部	教授	
	石井 真美子	文学部	教授	
	萩原 正樹	文学部	教授	
	桂島 宣弘	文学部	特任教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	加地 伸行	衣笠総合研究機構	研究顧問	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	中本 大	文学部	教授	
	川崎 佐知子	文学部	教授	
	金津 日出美	文学部	准教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	湊 宣明	テクノロジー・マネジメント研究科	教授	
	後藤 文男	教職研究科	准教授 立命館小学校学校長	
	長谷川 昭	立命館小学校	副校長	
学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員	斬 春雨	アジア・日本研究機構	専門研究員
		富 嘉吟	衣笠総合研究機構	専門研究員
		Biligaikhan BATJARGAL	衣笠総合研究機構	専門研究員
	② リサーチアシスタント			
	③ 大学院生	宮本 紗代	文学研究科	博士課程後期課程
		許 曉璐	文学研究科	博士課程後期課程
		田中 京	文学研究科	博士課程後期課程
		猪俣 貴幸	文学研究科	博士課程後期課程
		中西 健太	文学研究科	研修生
		池嶋 美帆	文学研究科	研修生
		稲田 琴美	文学研究科	博士課程後期課程
	④ 日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究生、研修生等)	山田 崇仁	文学部	非常勤講師 花園大学文学部准教授	
	高島 敏夫	文学部	非常勤講師 (白川研客員研究員)	
	落合 淳思	文学部	非常勤講師 (白川研客員研究員)	
	増井 寛也	立命館大学文学部	非常勤講師 (白川研客員研究員)	

	佐藤 信弥	文学部	非常勤講師 (白川研客員研究員) 大阪府立大学
	今場 正美	文学部	非常勤講師
	松尾 肇子	文学部	非常勤講師
	佐古 愛己	文学部	非常勤講師 (ARC客員研究員) 佛教大学准教授
	花田 卓司	文学部	非常勤講師 (白川研客員研究員) 帝塚山大学専任講師
	久保 裕之	衣笠キャンパス地域連携課	職員
客員協力研究員	張 莉	大阪教育大学	准教授
	名和 敏光	山梨県立大学	准教授
	高田 宗平	大阪府立大学	客員研究員
	上島 理恵子	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	笠川 直樹	京都精華学園	理事
	村上 幸造	大阪工業大学	客員教授
	大野 裕司	大連外国語大学日本語学院	外籍教師
	重信 あゆみ	大阪府立大学	客員研究員
	洲脇 武志	愛知県立大学	准教授
	津崎 幸博	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	臧 克和	華東師範大学、世界漢字学会	終身教授、主席
	高橋 あやの	関西大学	非常勤講師
	末次 信行	千里金蘭大学	教授
	松宮 貴之	佛教大学	非常勤講師
	阪谷 昭弘	私立花園中学高等学校	教諭
	横大路 綾子	京都西山高校	非常勤講師
	白須 裕之	京都大学人文科学研究所	助教
	安永 知晃	関西学院大学文学研究科大学院	研究員
	松川 雅信	日本学術振興会	特別研究員
	楊 冰	大阪府立大学	非常勤講師
	庄 婕淳	中国惠州学院	講師
	張 宇衛	台灣大學	助理教授
	曾 守正	国立政治大学	特聘教授
	余 筠珺	台湾大学	助理教授
	梁 曉虹	南山大学	教授
	井ノ口 哲也	東京学芸大学	准教授
山田 明広	奈良学園大学	専任講師	
その他の学外者	村田 右富実	関西大学	教授
	草野 友子	大阪大学	助教
	住吉 朋彦	慶應義塾大学	教授
	沈 慶昊	高麗大学校	教授
	魯 耀翰	高麗大学校	研究員
	金 程宇	南京大学	教授
研究所・センター構成員	計 70 名	(うち学内の若手研究者 計 10 名)	

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2020年3月31日時点) また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	大形徹	『年号と東アジア：改元の思想と文化』『年号と貨幣—漢興・大夏真興あたりを起点として—』	共著	2019年4月	八木書店古書出版部、八木書店(発売)	水上雅晴編、高田宗平編集協力、所功、小川剛生、石井行雄・猪野毅・近藤浩之、高田宗平、名和敏光、月脚達彦、ファム・レ・フイ、清水浩子、多田伊織、甘懐真、福島金治、田中大喜、童嶺、久禮旦雄、鶴成久章、大川真、清水正之、鄭吉雄、赤澤春彦、水口幹記、尾形羽弘紀、武田時昌、細井浩志、末永高康、吉野健一	PP. 121~148
2	萩原正樹	宋代文学伝播原論—宋代の文学はいかに伝わったか—	共著	2019年12月	朋友書店	松尾肇子・池田智幸	PP. 1~609
3	桂島宣弘	東アジア 遭遇する知と日本	編著	2019年5月	文理閣	尹海東／張世眞／安相憲)／張憲生／石運／松川雅信／田中俊亮／松本智也／向静静)／許智香／沈熙燦／長志珠絵／青柳周一／朝井佐智子／石原和／裴貴得／朴海仙／佐藤太久磨／富山仁貴	PP. 3~7 (全374頁)
4	桂島宣弘	从德川到明治：自他认识思想史	単著	2019年10月	中国社会科学出版社		全214頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	芳村弘道	古筆切の李善注本『文選』について	単著	2019年5月	『學林』第68号		PP. 1~25	無
2	大形徹	「從洞天福地看《『列仙伝』的仙人与山」	単著	2019年6月	『第一屆 洞天福地 研究与保護國際學術檢討会 摘要及論文 初稿』福建省寧德市蕉城区人民政府・福建省寧德市文化和旅游局・清華大学国家遺產中心・清華大学建築設計研究院	中文翻譯：董濤	PP. 88~99	無
3	大形徹	「針灸吉田流《蟲書》的成書過程—從圖示的“虫”圖的比較入手—」	共著	2019年8月	“从中古到近代写本文化與跨文化交流”國際學術研討會論文集、北京大学、北京大学東方文学研究中心	共著者：池内早紀子、中文翻譯：董濤	PP. 25~37	無
4	大形徹	「日本人小名中使用的「丸」字與辟邪觀念」	単著	2019年9月	中国社会科学論壇(2019 宗教学)“宗教学研究的傳承與創新”國際學術會議 論文集 中国社会科学院学部主席团、中国社会科学院宗教研究所・中国宗教学会	中文翻譯：董濤	PP. 41~55	無
5	大形徹	「醫について」	単著	2019年10月	2019.10 『漢字學研究』第7号、字説 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所		PP. 79~91	有

6	大形徹	「日本人の小名中に使用される「丸」の字」	単著	2020年3月	『人文学論集』38集		PP. 237~250	有
7	大形 徹	「里耶秦簡の医方で用いられる薬物の一考察：菌桂を中心として」	共著	2020年3月	『人文学論集』38集	池内早紀子、山本優紀子	PP. 97~108	有
8	松本保宣	「唐代入閩の儀と甘露の変」	単著	2019年12月	『立命館文学』664号		PP. 414~439	有
9	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡[貳]』訳注(九)	共著	2019年5月	中国芸文研究会, 学林, 68号	村田進、山内貴	PP. 172~202	無
10	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡[貳]』訳注(十)	共著	2019年11月	中国芸文研究会, 学林, 69号	村田進、山内貴	PP. 110~136	無
11	石井真美子	銀雀山漢簡「將義」篇に見る將の要件	単著	2019年12月	立命館文学, 立命館大学人文学会, 664号		PP. 36~52	有
12	萩原正樹	小泉盗泉と詞	単著	2019年11月	『學林』第69号		PP. 88~109	有
13	萩原正樹	鷹取岳陽年譜補訂稿	単著	2019年12月	『立命館文學』第664号		PP. 530~540	無
14	杉橋隆夫	京都、上賀茂神社収蔵「賀茂舊記」の史料價值與分析視角	単著	2019年9月	世界漢字學會第七回年會論集		PP. 437~442	有
15	杉橋隆夫	(コラム) 白川文字学の世界—元・和・令	単著	2019年7月~2020年3月	立命館大学研究部 RADIANT11-13		各 PP. 26	無
16	杉橋隆夫	(辞典項目) 四条天皇	単著	2019年8月	吉川弘文館、令和新修歴代天皇・年号辞典	米田雄介編	PP. 216~217	無
17	小椋秀樹	近代における字音接頭辞「非・不・未・無」	単著	2020年3月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要, 13		PP. 85~98	有
18	川崎佐知子	立命館大学図書館蔵『一順再返』について	単著	2019年5月	立命館大学日本文学会、論究日本文学, 第110号		PP. 77~79	有
19	川崎佐知子	立命館大学図書館蔵『詠二十首和歌』について	単著	2019年10月	立命館大学中古文学研究会、平安文学研究 衣笠編、第8輯		PP. 20~33	無
20	川崎佐知子	陽明文庫蔵『御哥』について	単著	2019年12月	立命館大学人文学会、『立命館文學』、第664号		PP. 490~502	有
21	富嘉吟	官版『唐人選唐詩』底本考~兼ねて林家旧蔵の『唐人選唐詩』写本に及ぶ~	単著	2019年5月	中国芸文研究会、『学林』、第68号		PP. 58~83	有
22	富嘉吟	唐詩人蘇渙の生涯について~兼ねて杜甫との交遊に及ぶ~	単著	2019年10月	中唐文学会、『中唐文学会報』、第26号		PP. 26~43	有
23	富嘉吟	『苑詩類選』について	単著	2019年12月	立命館大学人文学会、『立命館文学・芳村弘道教授退職記念論集』、第664号		PP. 334~348	有
24	富嘉吟	『文苑英華』所據『白氏文集』諸本考	単著	2019年12月	中華書局、『文史』、第129輯		PP. 81~118	有
25	田中京	高適の家系と開元年間における事跡について	単著	2019年11月	『學林』第69号		PP. 1~31	有
26	田中京	杜甫と高適の制科受験に関連する詩について——奉贈の排律の詩を中心に——	単著	2020年3月	杜甫研究年報 第3号		PP. 57~73	有
27	佐藤信弥	金文通解 叔父方鼎	単著	2019年9月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、7号		PP. 7~41	有
28	佐藤信弥	2017年古文字学論著目	単著	2019年9月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、7号		PP. 159~175	有
29	佐藤信弥	論清華簡《攝命》的“蒿京”與西周甲骨	単著	2019年9月	世界漢字學會、世界漢字學會第七回年會“面向世界的漢字		PP. 140~155	有

		金文中の“蒿”、“二京”			研究重要領域及課題”國際學術研討會論文集			
30	佐藤信弥	白川文字学の今後の展望——中国の研究との対比を中心に	単著	2020年3月	大阪府立大学、人文学論集、38集		PP. 277~288	有
31	高島敏夫	京辟雍儀礼の特質と歴史的役割(下)	単著	2020年3月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所紀要、第13号		PP. 59~83	有
32	靳春雨	『典雅詞』及び『燕喜詞』諸本	単著	2019年12月	『芳村弘道教授退職記念論集』、『立命館文学』第664号		PP. 289~306	有
33	靳春雨	立命館大学図書館西園寺文庫所蔵『詞綜』研究	単著	2020年3月	高麗大学校漢字漢文研究所、『東亜漢籍研究』第14号		PP. 169~203	有
34	花田卓司	帝塚山大学所蔵の建長二年十二月十五日寂心田地売券	単著	2019年4月	鎌倉遺文研究会、『鎌倉遺文研究』、43号		PP. 66~73	有
35	笠川直樹	子彈庫「楚帛書」十三行文釋注	単著	2019年9月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第7号		PP. 119~136	有
36	村上幸造	金文通解 伯唐父鼎	単著	2019年9月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第7号		PP. 63~78	有
37	村上幸造	甲骨文法—陳夢家『殷虛卜辭綜述』第三章文法(上)(翻訳)	単著	2019年9月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第7号		PP. 93~117	有
38	重信あゆみ	紫金山古墳出土 仿製三角縁草文帯三神二獸鏡について	単著	2020年3月	人文学論集(38)		PP. 219~235	有
39	重信あゆみ	西王母と女媧—二人の神—	単著	2020年3月	大阪府立大学、学位論文			
40	高橋あやの	「雨占研究序説」	単著	2019年12月	『東洋研究』第214号	田中良明	PP. 1~25	
41	高橋あやの	『観象玩占』にみる東アジアの術数文化」	単著	2020年2月	勉誠出版、『前近代東アジアにおける〈術数文化〉』	水口幹記	PP. 250~259	
42	洲脇武志	王儉の学術	単著	2020年1月	アジア遊学242 中国学術の東アジア伝播と古代日本		PP. 35~49	無
43	洲脇武志	『倭名類聚抄』所引『文選』注釈考	単著	2020年1月	水門一言葉と歴史一、第29号		PP. 1~16	無
44	洲脇武志	引用書から見た『天地瑞祥志』の特徴—『開元占経』及び『稽瑞』所引の『漢書』注釈との比較から	単著	2020年2月	アジア遊学244 前近代東アジアにおける〈術数文化〉		PP. 90~100	無
45	洲脇武志	筆者所蔵「汲古閣本『礼記註疏』(存卷九・十)」について—その書き入れを手がかりに	単著	2020年3月	愛知県立大学説林、第68号		PP. 73~88	無
46	洲脇武志	編譯 中國歴史文獻學史述要—遼・金時代の歴史文獻略述	共訳	2020年3月	大東文化大學漢學會誌、第59号	山口謡司、石川薫	PP. 147~163	無
47	井之口哲也	王充の“自然”観	単著	2019年8月	社会科学文献出版社(北京)、『老子道文化研究』、第1輯	何建明(主編)	PP. 49~59	無
48	井之口哲也	《新學偽經考》初探	単著	2019年10月	萬卷樓(台北)、『經學史研究的回顧與展望—林慶彰教授榮退紀念論文集』、下冊	張曉生(主編)	PP. 1279~1283	無
49	梁曉虹	“An Exploratory Survey of the Graphic Variants Used in Japan: Part One,”	単著	2019年9月	JOURNAL OF CHINESE WRITING SYSTEMS(JCWS), Vol. 3, (Special Issue: The Sinitic Scripts in the Sinosphere),		PP. 141~151	有
50	梁曉虹	「日本早期仏經音義特色考察—以醍醐寺蔵『孔雀經音義』二	単著	2019年10月	『歴史語言学研究』、13号、中国社会科学院語言研究所		PP. 75~92	有

		古写本為例]						
51	梁曉虹	「日僧撰『俱舍論音義』の語料価値—以漢字研究為中心」	单著	2019年10月	『文献語言学』、9号、北京語言大学		PP. 50~65	有
52	梁曉虹	「日本“禅林句集”与漢語熟語研究」	单著	2019年12月	『東亞文献研究』、24号、韓國交通大学校東ASIA研究所・上海師範大学人文与傳播学院		PP. 1~23	有

3. 研究發表等					
No.	氏名	發表題名	發表年月	發表會議名、開催場所	その他発表者名
1	芳村弘道	董康晚清、辛亥革命時赴日訪書與學術交流的事跡	2019年4月	明清文人的世界—第五届古典文学国际學術研討會 台北 東吳大学	
2	大形徹	「從洞天福地看《列仙伝》的仙人与山」、研究發表、翻訳、董濤。	2019年6月	福建省寧德。『第一届 洞天福地 研究与保護国际學術檢討會 摘要及論文初稿』福建省寧德市蕉城区人民政府・福建省寧德市文化和旅游局・清華大学 国家遺產中心・清華大学建築設計研究院。	
3	大形徹	「針灸吉田流《蟲書》の成書過程—從圖示的“虫”圖的比較入手—」、研究發表、翻訳董濤	2019年8月	“从中古到近代写本文化与跨文化交流” 国际学术研讨会 北京大学, 北京大学东方文学研究中心	池内早紀子
4	大形徹	「日本人小名中使用的「丸」字與辟邪觀念」、研究發表 翻訳董濤	2019年9月	中国社会科学論壇(2019 宗教学) “宗教学研究的傳承與創新” 国际學術會議 第二論壇 宗教研究的新視野 內蒙古大厦二樓2号會議室	
5	大形徹	「推拿手法 “揉” 字考」、研究發表	2019年9月	第七回世界漢字学会 立命館大学創思館	李強
6	大形徹	仙人の飛ぶ形、研究發表	2019年10月	形の文化会第71回フォーラム(大阪)、テーマ「シンボルと形」、大阪府立大学 A15~229	
7	大形徹	仙人の飛ぶ形、研究發表	2019年10月	形の文化会第71回フォーラム(大阪)、テーマ「シンボルと形」、大阪府立大学 A15~229	
8	大形徹	「『論語』本立而道生と富本・日本」、講演	2019年12月	阪神中哲談話会 440 回例会、大阪府立大学 A15~101	
9	松本保宣	「五代中原王朝の便殿聽政について—後唐中興殿を中心に—」	2019年8月	2019年度立命館東洋史学会大会	
10	石井真美子	銀雀山漢簡「將義」篇に見る將の要件	2019年10月	中国芸文研究会、立命館大学学術館 313号教室	
11	萩原正樹	鷹取岳陽年譜補訂稿	2019年6月	「明治大正期日中韓文人詩詞交流研究」 国际學術會議	
12	杉橋隆夫	京都、上賀茂神社収蔵“賀茂舊記”の史料價值與分析視角	2019年9月	世界漢字学会第七回年會、立命館大学衣笠キャンパス	大形徹、他
13	杉橋隆夫、上島理恵子	『賀茂旧記』の史料的價值と分析の試み	2020年2月	白川研 2019年度研究成果報告会、立命館大学衣笠キャンパス	
14	桂島宣弘	近代天皇制の思想過程	2019年12月	韓国東西大学校日本研究センター	
15	川崎佐知子	陽明文庫蔵『御哥』について	2019年7月	和歌文学会関西七月例会(第130回)、相愛大学南港学舎(大阪住之江区)	
16	富嘉吟	官版『唐人選唐詩』底本考	2019年10月	第6回東亞漢籍交流国际學術會議(高麗大学校)	
17	田中京	杜甫と高適の制舉受験について	2019年9月	日本杜甫学会 兵庫県神戸市神戸研究学園都市大学共同利用施設UNITY セミナー室	
18	田中京	大東急記念文庫蔵『高常侍集』殘本および高適集の諸版本について	2019年10月	第6回東亞漢籍交流国际學術會議 ソウル 高麗大学校	
19	佐藤信弥	論清華簡《攝命》的“蒿京”與西周甲骨金文中的“蒿”、“=京”	2019年9月	世界漢字学会第七回年會“面向世界的漢字研究重要領域及課題” 国际學術研討會	

20	佐藤信弥	「三」字の釈読と白川静の「三」字説	2019年11月	日本漢字学会 第2回研究大会	
21	佐藤信弥	論清華簡(攝命)的“蒿京”與西周甲骨金文中的“蒿”、“三京”	2020年2月	2019年度研究成果報告会	
22	落合淳思	漢字の造字に関する分類について	2019年6月	「アジア文字研究基盤の構築1:文字学に関する用語・概念の研究」共同利用・共同研究課題 東京外国語大学アジア・アフリカ研究所	
23	落合淳思	字形的変遷—從甲骨文到楷書	2019年9月	世界漢字学会(第7届) 立命館大学衣笠キャンパス	
24	張莉	「白川静博士在海内外的學術影響」	2019年9月	世界漢字学会第7回年會、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所	
25	張莉	「日本漢字教育(包括書法教育)的現狀與課題」	2019年10月	山東芸術学院書法学院國際論壇、於中国山東芸術学院	
26	張莉	「日本漢字文化—現代繼承的漢字(訓)と假名(音)的形式」	2019年11月	Asia Community—2019 國際漢字文化暨科技媒體研習會於台湾逢甲大学	
27	靳春雨	立命館大学図書館西園寺文庫所蔵『詞綜』研究	2019年10月	第6回東亞漢籍交流國際學術會議ソウル 高麗大学校	
28	靳春雨 田中京	韓国所蔵唐本調査報告	2020年2月	『白川静記念東洋文字文化研究所二〇一九年度研究成果報告会』、立命館大学衣笠キャンパス	
29	花田卓司	鎌倉末～建武期の戦功認定	2019年9月	鎌倉遺文研究会第253回例会、早稲田大学	
30	笠川直樹	金文通解「哀成叔鼎」	2019年11月	漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
31	重信あゆみ	「关于江戸时代寺子屋教育所使用的汉字教材『小野篁歌字尽』」	2019年9月	世界漢字学会 立命館大学	
32	高橋あやの	「日藏漢籍《靈台秘苑》的比較研究」	2019年8月	從中古到近代：写本与跨文化研究國際學術檢討会、北京大学	
33	洲脇武志	王儉の礼学—穆妃の葬喪儀礼への対応を中心に	2019年6月	六朝学術学会 第23回大会	
34	梁曉虹	「日本早期佛經音義特色考察—以『大乘理趣六波羅蜜經釈文』為例」	2019年6月	第5回文獻語言学國際論壇、中国内モンゴル師範大学	
35	梁曉虹	「日本佛經音義与漢字研究」	2019年7月	第一回華中語言学高級論壇、中国湖南省常德市、湖南文理学院	
36	梁曉虹	「日本“禅林句集”与漢語熟語研究—以無著道忠『禅林句集辨苗』為中心」	2019年8月	第七回全國漢語集學及『語海』編纂學術研討会、中国山西省忻州市、忻州師範学院	
37	梁曉虹	「天理本、六地藏寺本『大般若經音義』之比較研究—以訛俗字為中心」	2019年9月	東北亞漢文写本研究的過去与未来學術研討会、中国西安外國語大学	
38	梁曉虹	「日本俗字研究芻議」	2019年9月	第五回出土文獻与上古漢語研究及漢語史研究學術研討会、中国復旦大学	
39	梁曉虹	「日本俗字初探」(代誌)	2019年9月	世界漢字大会第7回年會、立命館大学	
40	梁曉虹	「日本早期佛經音義特色考察—以醍醐寺藏『孔雀經音義』二古寫本為例」	2019年11月	第13回漢文仏典語言学國際學術研討会、中国廣西師範大学	
41	山田明広	“Are There Any Differences in the Rites due to the Difference of the Spirits Origins of the Rituals between Temples of Japanese Spirits and Temples of Chinese Spirits in Taiwan”	2019年7月	東アジア宗教社会学会 第2回年次大会	
42	山田明広	臺灣南部道教打城科儀之初步探討—以臺南地區與高雄・屏東地區為例	2019年9月	老子道文化學術研討会	

43	山田明広	台湾北部淡水地区の烏頭道士の功德儀礼について	2019年12月	東西学術研究所 2019年度第12回研究例会「中国・日本の宗教と儀礼をめぐって」	
----	------	------------------------	----------	--	--

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	「明治大正期日中韓文人詩詞交流研究」国際学術会議	衣笠キャンパス	2019年6月	50名	台湾政治大学
2	第七回世界漢字学会	衣笠キャンパス	2019年9月	100名	立命館大学 衣笠総合研究機構白川静記念東洋文字文化研究所・世界漢字學會・教育部人文社會科學重點基地中國文字研究與應用中心(華東師範大學)・韓國漢字研究所(慶星大學)後援、立命館孔子学院・日本漢字学会
3	立命館土曜講座 世界の漢字研究	衣笠キャンパス	2019年9月	250名	立命館大学 衣笠総合研究機構白川静記念東洋文字文化研究所・立命館孔子学院・日本漢字学会、協力、世界漢字學會
4	第71回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年4月	12名	白川静記念東洋文字文化研究所
5	第72回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年5月	12名	同上
6	第73回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年6月	15名	同上
7	第74回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年7月	9名	同上
8	第75回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年9月	17名	同上
9	第76回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年10月	13名	同上
10	第77回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年11月	10名	同上
11	第78回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2019年12月	15名	同上
12	第79回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2020年1月	13名	同上
13	第80回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2020年2月	14名	同上
14	連続公開講座「西周前期の雄篇《大孟鼎》の銘文を読む」全3回	衣笠キャンパス	2019年11月 2020年1・2月	20名	白川静記念東洋文字文化研究所
15	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年4月	10名	
16	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年5月	10名	
17	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年6月	10名	
18	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年7月	10名	
19	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年9月	10名	
20	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年11月	10名	
21	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2019年12月	10名	
22	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2020年2月	10名	
23	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年5月10日	15名	
24	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年6月7日	15名	
25	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年6月21日	15名	
26	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年7月19日	15名	
27	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年7月28日	15名	

28	東アジア思想文化研究会 国際シンポジウム「儒学と東アジア世界—開拓・継承・融合・変容の諸相—」	衣笠キャンパス	2019年8月8日	100名	厦門大学朱子学研究センター
29	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年10月26日	15名	
30	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2019年12月20日	15名	
31	東アジア思想文化研究会	衣笠キャンパス	2020年1月15日	15名	
32	白川静記念東洋文字文化研究所 2019年度研究成果報告会	衣笠キャンパス	2020年2月25・26日	25名	
33	『説文解字』を読む会	藤本築男氏宅	年間20回	6名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）					
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間	
1	芳村弘道	白居易の詩と人生 第1回 白居易の生涯と詩	立命館アカデミックセンター主催「おとなの学び舎 2019 冬」（立命館大阪梅田キャンパス・大阪富国生命ビル5階 [大阪市北区]）	2020年1月15日	
2	芳村弘道	白居易の詩と人生 第2回 子どもを詠んだ詩	立命館アカデミックセンター主催「おとなの学び舎 2019 冬」（立命館大阪梅田キャンパス・大阪富国生命ビル5階 [大阪市北区]）	2020年2月19日	
3	大形徹	漢字学研究会活動報告	『白川研究所便り』第13号	2019年4月	
4	大形徹	「国号「日本」の「本」はどのような意味か」講演	立命館土曜講座 衣笠キャンパス以学館 G101	2019年9月	
5	大形徹	復活再生 シカに願い 霊獣「花鹿」モチーフに 生え替わる角 神聖視	読売新聞 朝刊 15面「サイエンス 追うBOX」	2019年11月1日	
6	大形徹	第一プロジェクト成果報告「世界漢字学会・土曜講座」	第1プロジェクト研究成果報告会、末川記念会館	2020年2月	
7	大形徹	「古代中国人の死生学—不老不死仙人の誕生と神仙術—」、講演	芦屋川カレッジ、芦屋市民会館	2020年2月	
8	杉橋隆夫	神器不帯天皇の苦悩と承久の乱—政治史・地域史・代替わり—	三島香陵会	2019年9月7日	
9	杉橋隆夫	三嶋大社・願成就院・修禅寺—北伊豆の史跡—	姫路市歴史講座	2019年12月16日	
10	杉橋隆夫	古代・中世移行期における裾野周辺の政治的・文化的状況	裾野香陵会	2020年2月15日	
11	桂島宣弘	石田梅岩 民衆知の胎動	立命館大大阪キャンパス（京都大阪文化講座）	2019年12月	
12	川崎佐知子	本願寺蘭如會記念春の宝物展「皇室からの御下賜品—東本願寺近現代のあゆみ—」展示解説	嵯峨本願寺（京都市右京区）	2019年4月7日-2019年4月13日	
13	川崎佐知子	紫式部—『源氏物語』作者の伝説—	大阪・京都〈偉人伝〉—古代・中世編— 第3回（立命館大学アカデミックセンター [大阪市北区]）、2019年度大阪・京都文化講座〔春期〕	2019年5月27日	
14	川崎佐知子	『源氏物語』を愛した武将たち 第1回『源氏物語』を学ぶ—徳川家康—	立命館アカデミックセンター主催「おとなの学び舎 2019」（立命館大阪梅田キャンパス・大阪富国生命ビル5階 [大阪市北区]）	2020年1月20日	
15	川崎佐知子	『源氏物語』を愛した武将たち 第2回「源氏歌の創作—柳澤吉保・吉里—」	立命館アカデミックセンター主催「おとなの学び舎 2019」（立命館大阪梅田キャンパス・大阪富国生命ビル5階 [大阪市北区]）	2020年2月17日	
16	佐藤信弥	年号以前—中国で年号制度ができるまで	近鉄文化サロン上本町「年号の歴史と文化」	2019年9月14日	
17	佐藤信弥	長安—周王朝の夢の跡	宮水学園 歴史講座（鳴尾公民館）	2019年10月4日	
18	佐藤信弥	『史記』の「共和行政」説話について	宮水学園 塩瀬地域講座（塩瀬公民館）	2019年12月11日	
19	佐藤信弥	古代中国の魅力にせまる—戦争と人物から見る	NHK文化センター 西宮ガーデンズ教室	2020年2月1日	
20	落合淳思	講演会（題目：漢字の字源と字形の歴史）	中京大学名古屋キャンパス	2019年12月	

21	張莉	「漢字の知恵」第7回桜井市民大学講座	桜井市教育委員会、桜井市立中央公民館	2019年6月6日～10月3日まで5回
22	張莉	「漢字書体の変遷」(講演)	関西漢字教育サポーターの会、芦屋市民センター	2019年8月
23	張莉	「東アジアの漢字文化①」	朝日カルチャー文化講座、朝日カルチャーセンター中之島、	2019年8月
24	張莉	「東アジアの漢字文化②」	朝日カルチャー文化講座、朝日カルチャーセンター中之島、	2019年8月
25	張莉	「東アジアの漢字文化」(講演)	隨風会講演会、於難波市民学習センター	2019年12月
26	張莉	「甲骨文字、杜甫詩、春夜喜雨」第1回書道教員による鑑賞教材のための書作展」に出品	東京芸術劇場・展示ギャラリー2(日本教育大学協会全国書道教育部門)	2020年3月23日～24日
27	高島敏夫	師という文字の成り立ちとその変遷	公益社団法人中部日本書道会 創立85周年記念講演会、愛知芸術文化センター	2019年6月
28	高島敏夫	甲骨文を読む——王子の誕生に気を揉む王の巻	福井県白川文字学ゼミ公開講座(第4回)	2019年7月
29	花田卓司	足利尊氏の祖先たち—平安・鎌倉時代の足利氏とその一族—	近鉄文化サロン(阿倍野)	2019年4月
30	花田卓司	男山八幡の戦いと四条隆資	四條隆資卿研究会、石清水八幡宮	2019年6月
31	花田卓司	建武の戦乱と京都—京都争奪戦の実像—	京都労働学校 2019年度春期講座(ラポール学園)	2019年6月
32	花田卓司	南北朝内乱を彩った人びとⅢ—足利直義—	近鉄文化サロン(阿倍野)	2020年1月
33	花田卓司	南北朝内乱を彩った人びとⅢ—北畠親房—	近鉄文化サロン(阿倍野)	2020年2月
34	村上幸造	阪哲評書:戸内俊介著『先秦の機能語の史的発展—上古中国語文化研究序説』(研文出版、2018)	阪神中哲談話会第404回例会、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス A15-101	2019年12月7日
35	高橋あやの	「中山城山直筆の天文曆算書について」	城山顕彰会総会、高松市香南歴史民族郷土館	2019年4月28日
36	李零著・大野裕司訳	占ト方法のデジタル化よりみた陰陽五行説の起源 翻訳	『中国哲学』(47)P1-19	2019年12月
37	山田明広	台湾の疫病払いの祭り	奈良学園大学公開講座2019年第3回「リーベールカレッジ」 於王寺町地域交流センター	2019年6月

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	芳村弘道	「朝鮮渡り唐本」の総合的研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
2	大形徹	伝統的文化を背景とした植物利用が地域性の形成と地域環境に与える影響に関する研究	基盤研究(C) 平成30年度科学研究費補助金(代表:神戸大学大野朋子)	2018年4月	2021年3月	分担
3	大形徹	道教の洞天思想における聖地と巡礼の調査研究およびその東アジア思想文化史への影響	基盤研究(B) 平成31年度科学研究費補助金(代表:専修大学土屋昌明)	2019年4月	2022年3月	分担
4	石井真美子	銀雀山漢墓竹簡の訳注および思想研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	代表
5	萩原正樹	『詞律大成』の総合的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
6	萩原正樹	「朝鮮渡り唐本」の総合的研究	基盤研究(C)	2019年4月	2022年3月	分担
7	桂島宣弘	東アジア翻訳語ネットワークと近代史学史に関する思想史的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
8	川崎佐知子	「近衛基熙詠草」に関する総合的基礎研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表

